

◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆暮らしサポートサポート・ワン◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 279通信
R5年11月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目 113〒496-0036

代表TEL：(0567) 26-3921

FAX：(0567) 26-3922

ホームページURL <http://www.s-o-s.co.jp>



問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板（☆募集中★満員）》

☆ナイス・ケア / 訪問介護※介護保険

☆ナイス・ホーム / 小多機介護※介護保険

・定員24名 : 現在登録者18名

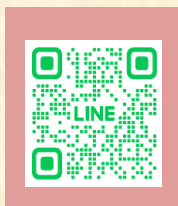
☆愛宕の家 / 住宅型有料老人ホーム

・定員17名 : 現在入居者12人

☆つしま紹介所 / 有料職業紹介

☆サポート・ワン / 暮らしサポート

※自費負担の在宅サービスです



《11月行事予定》

10日 外食DAY

15日 運営推進会議
(ナイス・ホーム)

20日 避難訓練(洪水)

30日 感染訓練

※喫茶外出や外食 DAY
など、社会参加活動の再開は場所や状況を踏まえて行っています。

《営業お知らせ》

喫茶てのひら

営業日：月・火・木・金・土・日 / 水曜日定休
時間：9:00-13:00

高気圧 ROOM 酸素 BOX

営業日：月・火・木・金・土 / 水・日定休
時間：9:00-17:00 完全予約制

鍼灸てのひら治療院

営業日：月・金・土(第1・3) / 完全予約制

てのひらコーラス教室

第1・3木曜日：14:30-16:00

♪参加者募集中♪

☆☆再開検討中☆☆

・打太鼓(和太鼓)

・ナイス・キッズ(学童・託児)

～詳細はお問い合わせ下さい～

復活と活気 / ナイス・ホーム

やっとコロナの前のように活気が戻りつつある今日この頃…。ナイス・ホームでも9月から再開された外食DAY、地域との交流、運動会等の行事が再開され、皆さんの笑顔も戻って見えました。中でもやはり食べる事は特別な楽しみのようなのです。メニューを選んでいる時の嬉しそうな顔は格別です。つい先日は愛西市の文化芸能まつりに利用者さんと出かけた時の事。

『今日はほんとに楽しかった。こんなの観たのは初めて。連れてきてくれてありがとうね。』と何度も何度もお礼を言われてしまいました。外出の日は入浴などのスケジュールやスタッフ配置など、準備が大変なのですが、利用者さんの喜ばれる顔を眺めると、「あ～来てよかった」と思い、また、利用者さんたちにとっては良い刺激になってくれているのではないかと思います。

秋は行事が目白押しでしたが、1年を通じて、地域との交流等、皆さんと楽しめる社会参加の行事に取り組みたいと思っています。(M・O)

外食 DAY



～年末年始のお知らせ～

各事業所で営業日が異なりますのでご確認ください

☆年末年始も通常通り営業

🌸地域密着小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム

🌸住宅型有料老人ホーム愛宕の家

🌸暮らしサポ サポート・ワン(12/26-1/5 料金割増あり)

★休業期間あり

📍訪問介護ナイス・ケア / 12月29日-R6年1月3日

📍喫茶・軽食てのひら / 12月31日-R6年1月3日

📍高気圧ROOM酸素BOX / 12月31日-R6年1月3日

《編集後記》

行事は再開し始め、皆の笑顔が嬉しい日々。世間ではインフルエンザとコロナがまん延中。楽しく過ごすためにも、感染対策継続中。(Y・O)

SOS通信はホームページ

への掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

11月 送部数 94 部

介護スタッフ、登録家政婦、看護師大募集♪

体調変化 / ナイス・ケア

季節の変わり目、体調を崩される方が増える事があります。数日寝込むことで、みるみる体力の低下がみられ、今まで出来ていた動作が難しくなってしまう事…。食欲はなくなり、会話も減ってしまい、会話が成り立たなくなる事もあります。

Cさんはお手伝いすれば立っていた事も、発熱されたことがきっかけで立てなくなってしまいました。施設や施設看護師と連携をとりながら、Cさんに合わせて、訪問の際に、食べられる時に食べられるよう、お風呂に入れるタイミングで入れるよう…。関わりました。

今は体力も戻り、以前のように少しの手伝いで立ち上がる事が出来ています。会話も増え、食欲も戻り、「甘いものが食べたい」と教えてくれます。最近では、以前のように、「家に帰りた～い。タクシー呼んで～。お金貸して～。あんたらがほかつとくでいかなのだ！女は怖いなあ～(笑)あ、余分なこと言ったな(笑)」など元気に自分の思いを訴えてくれています。小さな変化に気が付き、それを皆で共有し、介護に結び付ける。まさに、連携です。

言葉が増え、色々な要求を言葉で訴えてくれる事にほっとしている今日この頃です。(C・M)

キックオフイベント / サポート・ワン・サービス

10月22日(日) 鶏の解体ワークショップを開催しました。

来期より、病気になっても障害をもって何歳でも楽しむことができ、地域の交流スペースにも繋がる“鶏のいるエディブルガーデン(自給自足を目的とする庭)”の造作を計画。

弊社で孵化させた鶏(6羽)と畑で採れた玉ねぎを山盛り使ったスパイスカレー作りのイベント。鶏のいる庭で、皆で食事を作り完成したものを食しました。夢への取組開始、第0回目！！

今までもずっと、隣地に畑はあるものの、その畑と一緒に作業できる利用者さんや入居者さんの姿を見るのは難しくなっていた。

施設で提供する食事に、『こんな美味しいゴーヤは初めて食べた』と聞く。時には『またカボチャだね…』『あら、今日もナスの料理ね(笑)』と言われることもあるが(笑)施設での日常に生命あるものを育てる場に関われる時間があれば食事がもっと美味しくなると思う。自分を活かすための畑や庭があってもいい。

看取りまで関わらせていただくことも多い中、人は“食べる”意欲があつてこそ、“生きる力”が沸き起こる。それは何歳になっても変わらないということを利用者さんや入居者さんが教えてくれた。“生きる”=“生きる”そこに重きを置きたいと感じた時、人々が自然に集まり、皆で何かを育てる場がほしいと考えた。誰もが何かを抱えている。集い作業する場・互いの存在を確認する場・生命を感じる場。悲しくもあり寂しくもある色々な感情を受け止め合う場がある施設作りをしたい。地域との繋がりも必要だからワークショップも提案していきたい。

“人間らしく生きて最期を迎える”

そんな場作りを始めるために、想いを形にするためのキックオフイベントとして、0回目のワークショップ。慣れない事だけど楽しく開催できました。(M・T)



秋の大運動会



その人らしさの元気 / 愛宕の家

桜の蕾もまだ固い2月にAさんが入居されました。

初めは表情も硬く、黙っている姿が印象的でした。無理もないと思います。全然知らないところに移られて、不安で一杯だったことでしょう。でも、今ではすっかり打ち解けられてお話しもされるようになりました。音楽がお好きなのでしょうね。ベッドで過ごしてみえる時は、部屋のラジカセで唱歌を聞いてみえます。フロアまで聞こえてくるので私たちが癒されています。長い間、学校の先生一筋とお聞きしています。そのことだけでも頭が下がる思いです。

今年の5月には100歳の誕生日を迎えられました。足が不自由で車椅子の生活ですが、とてもお元気で毎日穏やかに過ごしてみえます。元々は、鼻から管を入れて、栄養を取って見ましたが、少しずつ自分で食べ、今では、食事はご自分で食べられます。それもキレイに食べられます。

テーブルの上にティッシュの箱がおいてあるのですが、その名前を読み上げてみえます。目もしっかり見えます。声にもハリがあつて、とても100歳とは思えない。Aさんにはこんなふうに、穏やかに日常生活を過ごしてもらいながら、まだまだ長生きしてもらいたいと思います。微力ながらお手伝いさせていただきます。(I・O)